2.2 他部門との連携

1) キャリアサポート課との連携

- ・ 期首目標に掲げた「就職関連活動における図書館利用の促進」を実現するための活動 の一つ。館内にキャリアサポート課のお知らせを掲示。
- ・ 就職講座・セミナーにて、毎回「図書館おすすめ本」チラシを配布することにより、 就職資料の貸出冊数が増加した。





キャンハ゜ス		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1月	2月	3 月	合計
# 201	2018 年度	568	326	375	231	98	111	224	316	324	536	822	921	4, 852
豊洲	2017 年度	970	501	463	262	70	140	189	245	307	425	733	718	5, 023
حاب ا	2018 年度	218	168	107	88	65	63	92	83	105	198	254	273	1,714
大宮	2017 年度	289	206	160	120	63	38	72	76	124	155	191	163	1,657
芝浦	2018 年度	46	35	58	36	9	9	29	32	19	62	87	91	513
	2017 年度	82	30	27	13	26	17	60	63	52	57	51	57	535

就職関連資料の貸出は全体の貸出数の約5%を占める。

外部講師を招き「eol 企業情報データベース」の説明会を実施した。 「eol」は国内株式公開企業を中心とした企業情報を総合的に提供しているデータベー

・ キャリアサポート課・図書館共催「会社の選び方講座」

スであり、就職活動中の学生の企業研究に有効活用してもらうのが目的。 開催日 参加者数(人) キャンパス 豊洲 12/5

12/1064 大宮 12/69 芝浦 12/11 2



2) 国際部との連携

・ K. International School 職業体験プログラム(第3回)

2016 年度より中高大連携とグローバル化の取り組みの一環として、同じ江東区にある K. International School の中学生をインターンとして受け入れている。説明や実習等のサポートを行う大学生スタッフは、英語による説明や共同作業を通し、グローバルコミュニケーション力を高める結果につながっている。

1. 参加:2名

2. 日程:2018年6月11日(月)~12日(火)

3. 時間:10:00~16:00 休憩1時間

4. 場所:豊洲図書館

5. 内容:

・ 大学図書館と中学校図書館との違いの説明

・ 資料の受け入れから装備の実習

・ カウンター業務の実習

・ 蔵書点検チェック作業 他



- ・ 図書館学生スタッフによる留学生対応 留学生向けの時間を設け対応中。
- ・ 留学生見学ツアー



・留学生関連図書の貸出冊数

洋書

キャンパス	2017 年度	2018 年度
豊洲	840	838
大宮	451	364
芝浦	100	94
合計	1, 391	1, 296

日本語学習

キャンパス	2017 年度	2018 年度
豊洲	116	131
大宮	116	133
芝浦	0	4
合計	232	268

・ TOEIC コーナー

TOEIC550 点以上という学生の目標レベル達成のためのサポートとして、TOEIC 担当教員と連携の上、役立つ資料を紹介し、TOEIC 関連の最新教材を充実させている。



3) 附属中学高等学校との連携

附属中学高等学校の新豊洲移転に伴う中高大連携強化の取り組みの一環として、 2017年10月に附属中高生の豊洲図書館利用を開始。高校在学中から大学図書館の環境に慣れ、専門書を読み始めることにより、進路の決定や大学生活のイメージ化に役立っている。

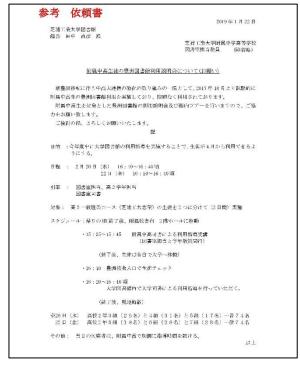
- ・ 高校在学中から大学図書館が利用できることをアピール。
- ・ 2月20日、22日の2回に亘り図書館ツアーを実施。
- · 参加者 高校 2 年生 143 名 (前年 105 人)
- ・ アンケート結果は参考として 3.2 各種データ-3) に記載。 2018 年度入館者数 30 人 36 回(前年度 10 人 10 回)











- 4) 講義連携 大宮キャンパス「創る」との連携
 - ・ システム理工学部1年生「世界一の大学図書館を創る」(担当教授分)の支援 外部講師講演会 4/27、5/11 実施。授業のサポート10回。
 - 「創る」受講者とその後の図書館
 - ・ 本講義の受講生が「創る」終了後も友人を連れて継続的に図書館を利用する様子が見られた。
 - ・ 過去の受講者で、サークル活動・就職活動・研究、と目的に合わせて継続的に 図書館資料を活用している学生もいる。
 - ・ 受講学生と図書館員が顔見知りになったことで、「創る」の時間以外でも互いに 声をかけやすくなった。



